

2013年度
競技規則の修改正
スタートのみ抜粋

JAAF
Japan Association of
Athletics Federations



第162条 スタート

6 不正スタート

〔注釈〕

足がスターティングブロックのフットプレートから離れない、または手が地面から離れない限り、
競技者のスタート行為の開始とは見なされない
(IAAF The Referees 2012より)

この観点から162.5(a)(b)(c)記載の行為は不正スタートではなく、**スタートにおける不適切行為**として区別される。



スタートにおける不適切行為とは？（主な動作）

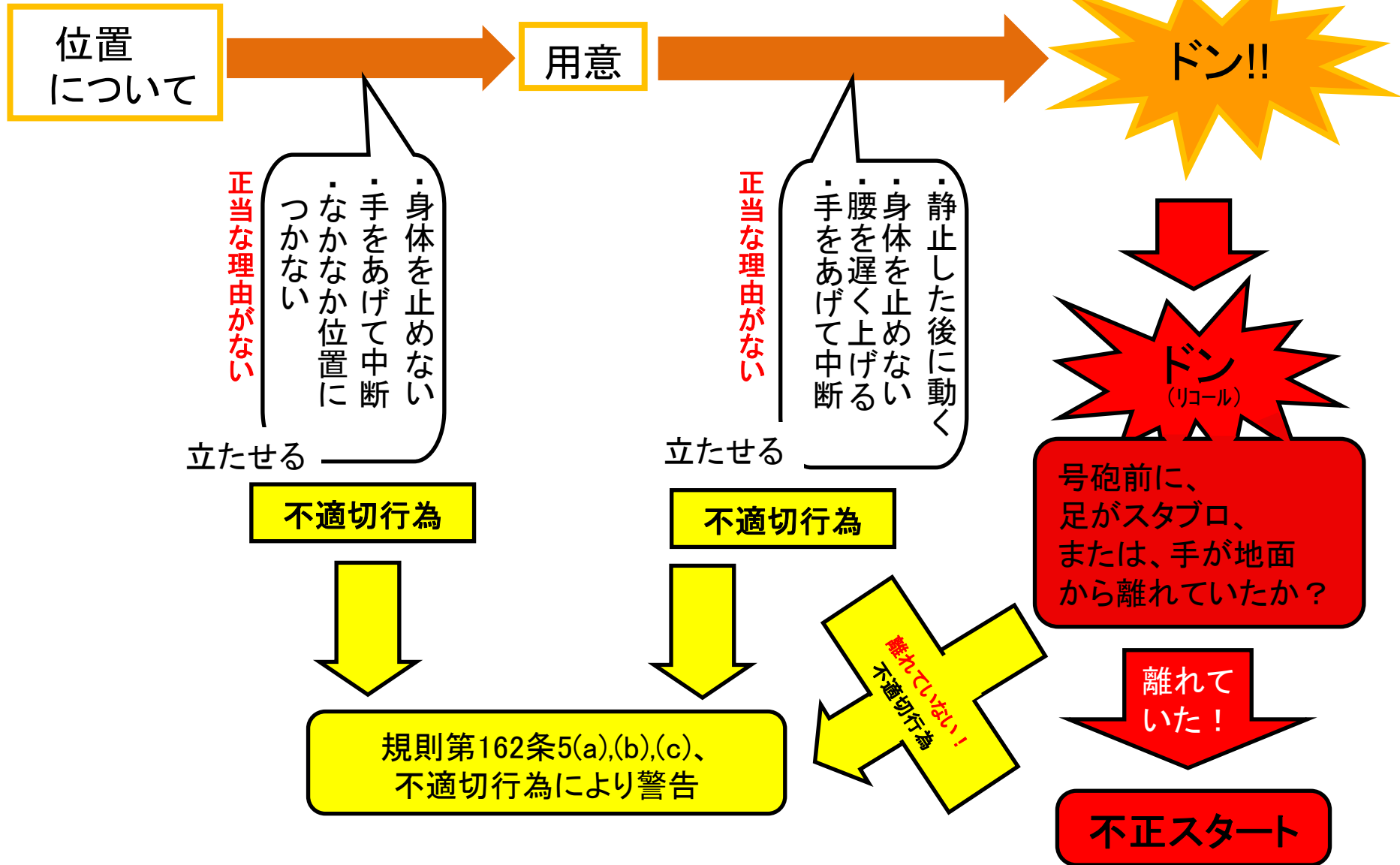
1) 「位置について」の時

- ①なかなか位置についての姿勢を取らない。
- ②身体を止めない。
- ③手を挙げてスタートを中断させる。

2) 「用意」の時

- ①タイミング遅らせて腰を上げる。
- ②静止しない。
- ③静止後に。
- ④ぴくっと動く。
- ⑤身体が沈み込む。
- ⑥身体が前に動き出す。
- ⑦両手ががたがたと動き出す。
- ⑧足がスタブロに固定出来ずズレ落ちる。

スタートにおける不適切行為とは？



不正スタート、および不適切行為により警告が与えられる場合

—1回で失格となる競技会—（日本陸連主催・共催大会、東海選手権、三重県選手権）

（1）不正スタートで失格となる場合

- ① Aが不正スタート → Aに対し失格を宣言。

（2）警告2回で失格となる場合

- ① Bが不適切行為 → Bに対し1回目は警告。
- ② Bが不適切行為 → Bに対し2回目は失格を宣言。

—2回目は誰でも失格となる競技会—（通常大会） 混成競技も含む

（3）不正スタートのみで失格となる場合

- ① Cが1回目の不正スタート →
- ② Dが2回目の不正スタート → Dに対し失格を宣言。

（4-1）警告2回と不正スタートで失格となる場合

- ① Eが不適切行為 → Eに対し1回目の警告。
- ② Eが不適切行為 → Eに対し2回目の警告。
全員に対し不正スタートが1回起こったと同じであることを警告。
- ③ Fが不正スタート → **F**に対し失格を宣言。

（4-2）不正スタートと警告2回で失格となる場合

- ① Gが不正スタート → 全員に警告。
 - ② Hが不適切行為 → Hに対し1回目は警告。
 - ③ Hが不適切行為 → **H**に対し2回目は失格を宣言。
- * ①と②の順番は問わない。

（5）警告2回が複数名出て失格となる場合

- ① Jが不適切行為 → Jに対し1回目は警告。
 - ② Jが不適切行為 → Jに対し2回目は警告。
全員に対し不正スタートが1回起こったと同じであることを警告。
 - ③ Kが不適切行為 → Kに対し1回目は警告。
 - ④ Kが不適切行為 → **K**に対し2回目は失格を宣言。
- * ②と③の順番は問わない。

（6）同一人が警告3回で失格となる場合

- ① Lが不適切行為 → Lに対し1回目は警告。
- ② Lが不適切行為 → Lに対し2回目は警告。
全員に対し不正スタートが1回起こったと同じであることを警告。
- ③ Lが不適切行為 → **L**に対し3回目は失格を宣言。